

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス 水海道教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた運動療育の提供。	児童ひとりひとりに合わせて運動道具を変更する等、今できる事から次のステップに進めるよう支援している。	短期目標を作成し、結果に繋がる支援を継続する。
2	他者とのコミュニケーションの幅を広げる支援の提供。	児童同士のコミュニケーションが円滑に行われるように、職員仲介のもと同じおもちゃや空間を共有できるよう支援している。	おもちゃやツールを使用し、言葉の表出を促し、よりコミュニケーションの幅を広げる支援を行う。
3	入室後の流れが理解できるよう、様々なツールを使用している。	入室後の身支度や、自由時間から運動あそびへの時間への気持ちの切替等、時計やカードを使用して視界から理解に繋がる支援を行っている。	個々に合わせたツールを作成し、より理解に繋がる支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会について。	活動時間内に保育園やこども園・幼稚園の児童と関わる活動を提供することができていません。	地域の公園や児童館に出掛けて、他のお子様と関わる機会を設けたり、法人内の別事業所との合同療育を実施したりすることで、他児童との関わる体験を増やす支援に繋げていきます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援について。	保護者様から個別にご相談を受ける場面がありましたが、全ての保護者様に対して定期的に面談を行っていませんでした。	保護者様に相談や面談希望のアンケートを実施し、ご希望に応じて事業所内でお話を伺ったり、お話の内容に沿って助言させて頂いたりする支援を提供していきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について。	コロナ禍により、保護者様が一緒に参加する事ができるイベントなどを開催することができていませんでした。	感染症対策に努めながら、作品展や写真展など、日頃の活動においての成果を発表することができるイベントを再開すると共に、イベント内で保護者様同士の交流に繋がる場を提供していきます。